



発行所 岩室村役場
印刷所 卷・北洋印刷K.K.

No.220

(1)

昭和55年8月1日

岩室村の人口

(6月30日現在) 前月対比	
男	4,526人 (+7)
女	4,923人 (+13)
計	9,449人 (+20)
世帯数	2,297世帯 (+6)
(住民基本台帳による)	



村が昭和四十九年から開設工事を進めていた、
弥彦・石瀬、岩室を結ぶ林道がみごとに完成しま
した。そこで村民のみなさんから、体力づくりを
かねて、歩いてみてもらおうと、この程、林道開
設記念歩け歩け大会を行われました。この
日の参加者は三才のボクから、七八八才のおばあ
ちゃんまで約一〇〇人……。歩け歩け大会ならで
はない、歩け歩け大会が行わされました。

途中、茶屋川上流の砂防えん堤や、優
良間ばつ展示林、木道の増庄ポンプ場の
工事現場などで、そのつど立ちどまり説
明を受けたり、時には野鳥のさえぎりに聞入った
りしながら、全長三・五キロのコースをのんびり
歩きました。こうして、自然景観を十分満喫したあと、お昼
には豚汁のサービスで大喜び
ある男の子が“いい汗立たたの豚汁はうま
い”といった言葉にどく笑いがおこるなど、若男女一緒になっての楽しいひとときでした。

深緑の林道を歩く 村民歩け歩け大会

はの光景です。
——あまりいそがないでのんびり歩き
ましょう——と金子村長の激励を受け
て、元気に出発しました。



参加者の声



イヤ よかったね
瀬 棚橋 耕司 さん

地元においても、めったにこれないんもんですね……。こうして若い人たちと一緒に歩くのも
楽しいもんですよ。老化は足からといわれ老人クラブでも何か体を動かそうと話し合ったりしたこともありましたが、こんな気軽に歩けるコースがあればみんなに話をして、こんどは仲間といっしょに歩いてみます。お昼の豚汁のうまかったこと、三杯ももりました。



「秋にはもう一度歩きたいですね」
和納 田中弥五郎 さん

つい先ごろまで東京に住んでいたもんですねから、こんな自然景観はめったにみることできませんでした。空気もうまいし、汗ばんだ体を涼風が吹きぬける感じは本当にこちよいもんです。この歩く会に参加させていただいて、岩室村のよさの一部を知ることができました。主催する人たちは大変だと思いますが、紅葉の季にもう一度歩いてみたいですね。